

令和3年度

事業報告書

公益財団法人 京都文化財団

# 目 次

## 令和3年度事業報告書

○ 処務の概要	
1. 評議員及び役員に関する事項	1
2. 組織に関する事項	
○ 事業の状況	
I. 財団本部事務局	3
1. 本部事務局	
2. 文化財保護基金の事業	
II. 京都府京都文化博物館	4
1. 管理運営業務	
2. 事業実施状況	
III. 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール	1 4
1. 管理運営業務	
2. 事業実施業務	
3. 美術工芸振興基金事業	
IV. 京都府立堂本印象美術館	2 4
1. 管理運営業務	
2. 事業実施状況	

# 処務の概要

## 1 評議員及び役員に関する事項

### 評議員及び役員名簿

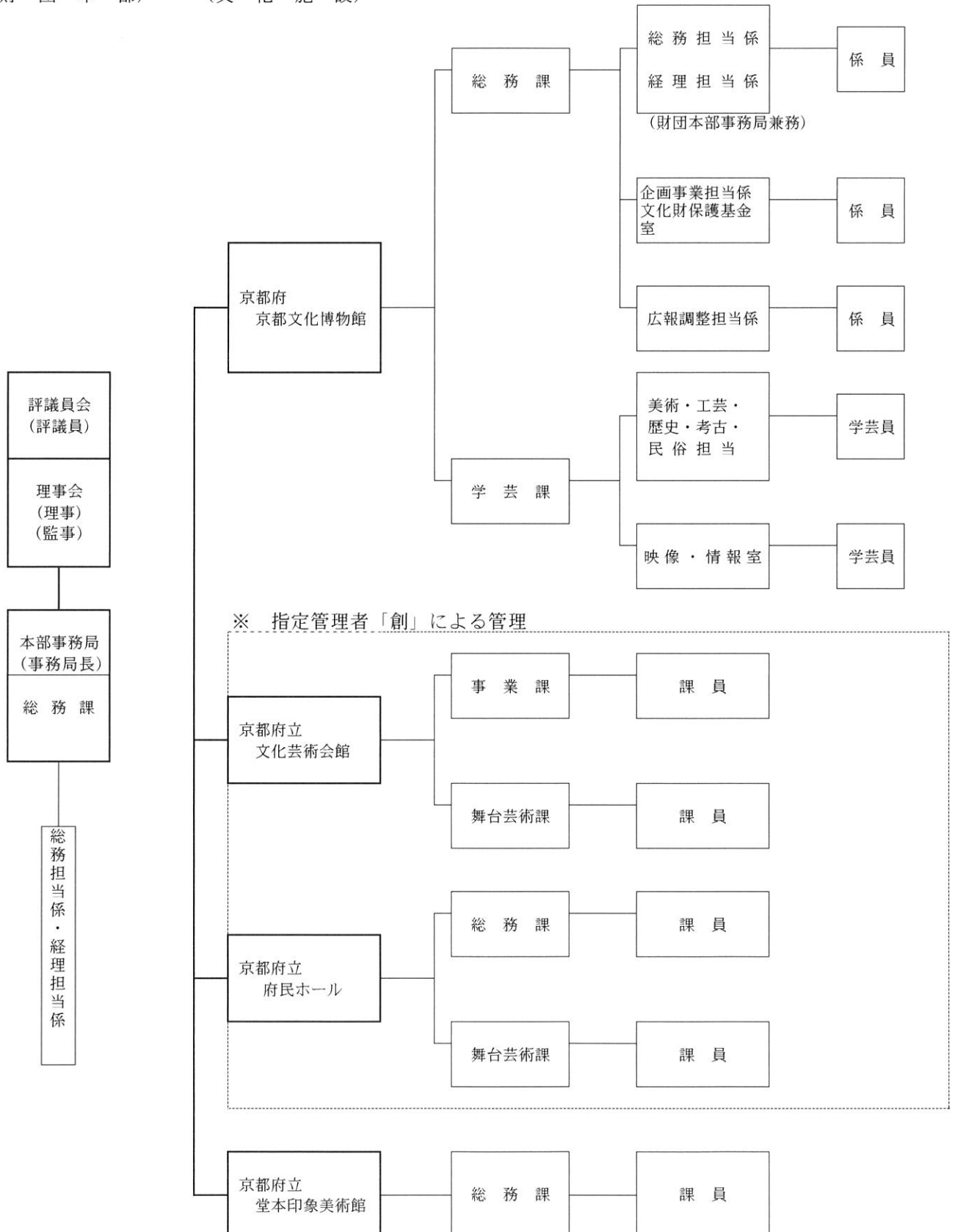
令和4年3月31日現在

職名	氏名	摘要	最初の就任年月日	
顧問	西脇隆俊	京都府知事	平 30. 6. 5	
	千玄室	前京都文化財団副理事長 前茶道裏千家家元	平 23. 6. 16	
評議員	赤松玉女	公立大学法人京都市立芸術大学理事長・学長	令 元. 6. 27	
	有馬頼底	臨済宗相国寺派管長	平 23. 5. 17	
	池坊雅史	華道家元池坊総務所事務総長	令 元. 6. 27	
	今井政之	陶芸家	平 23. 5. 17	
	上原雅明	京都府教育委員会教育長職務代理者	令 元. 6. 27	
	上村淳之	日本画家	平 23. 5. 17	
	梅原ひまり	ヴァイオリニスト	平 27. 6. 23	
	杭迫柏樹	書家	平 27. 6. 23	
	兒島宏尚	京都商工会議所専務理事	平 30. 6. 20	
	金剛永謹	金剛流宗家	平 23. 5. 17	
	佐々木正子	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、学校法人大覚寺学園理事	令 元. 6. 27	
	潮江宏三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授	令 元. 6. 27	
	杉本節子	料理研究家、公益財団法人奈良屋記念杉本家保存会常務理事	令 元. 6. 27	
	田中恆清	石清水八幡宮宮司	平 23. 5. 17	
	名和修	公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長	平 23. 5. 17	
	古川博規	京都府副知事	令 2. 10. 26	
	山内康敬	京都新聞社相談役	令 2. 10. 26	
	山極壽一	総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長	令 3. 3. 31	
	山本壯太	「古典の日」推進委員会 ゼネラルプロデューサー	平 23. 5. 17	
	冷泉為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長	平 23. 5. 17	
役員	理事長 (代表理事)	山田啓二	京都文化博物館館長、京都府参与、前京都府知事	平 30. 6. 20
	常務理事 (業務執行理事)	神山俊昭	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長	平 23. 6. 24
	理事	奥野美奈子	京都銀行執行役員	令 3. 11. 12
	〃	金田章裕	京都府立京都学・歴彩館長、京都府公立大学法人理事長	平 26. 6. 27
	〃	高階絵里加	京都大学人文科学研究所教授	平 23. 3. 22
	〃	並木誠士	京都工芸繊維大学特定教授・美術工芸資料館館長	平 24. 6. 26
	〃	平林幸子	京都中央信用金庫非常勤相談役	平 23. 3. 22
	〃	深尾憲一	弁護士	平 23. 3. 22
	〃	吉田忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長	平 23. 3. 22
監事	光田周史	公認会計士	平 23. 3. 22	
	中村健児	一般社団法人京都銀行協会専務理事	平 29. 3. 23	
(現在数)				
顧問 2名		評議員 20名	理事 9名	監事 2名

## 2 組織に関する事項

令和4年3月31日現在

(財 団 本 部)      (文 化 施 設)



# I 財団本部事務局

## 1 本部事務局

公益性が高く、かつガバナンスを強化した法人組織を確立するとともに、公益財団法人としての事業に取り組んだ。

財団本部では文化博物館を含む4つの文化施設の事業活動が、それぞれ設立趣旨に則して円滑に推進できるように努めるとともに、併せて文化財保護基金による資金の貸付け及び文化財の保存と啓発に関する事業の推進に努めた。

## 2 文化財保護基金の事業

### (1) 文化財保護資金の貸付け

昨年度に続き新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大した影響を受け、令和3年度の貸付件数は2件であった。

また毎年開催していた指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象とした「文化財保護のよろず相談（無料）」は開催することができなかった。

### ② 貸付金の償還状況

(単位：千円)

貸付年度	貸付件数	貸付額	令和3年度償還額			償還済額 (元金)	未償還額 (元金)
			件数	元金	利子		
⑳	3	35,000				35,000	0
㉑	3	22,000	1	1,165	14	1,179	20,835
㉒	8	95,000	7	9,691	329	10,020	67,581
㉓	3	19,400	2	1,913	91	2,004	11,844
㉔	3	28,000	1	1,555	95	1,650	20,037
㉕	4	41,000	4	4,521	313	4,834	14,936
㉖	2	21,000	2	2,277	198	2,475	4,474
㉗	2	22,000	1	1,607	161	1,768	8,588
㉘	0					0	
㉙	3	14,000	3	540	110	650	0
㉚	2	20,000	2	0	41	41	0
累計	33	317,400	23	23,269	1,352	24,621	183,295
							110,835

### (2) 文化財保護の啓発普及

啓発普及誌「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート第35号」を発行し、文化財保護の啓発に努めた。今年度は2,000部印刷した。(令和4年3月発行)

### (3) 文化財保護関係の関係機関及び諸団体との連携の強化

文化財保護関係機関で構成する京都文化財防災対策連絡会との連携により、事業の推進や啓発活動の強化に努めた。

## Ⅱ 京都府京都文化博物館

### 1.管理運營業務

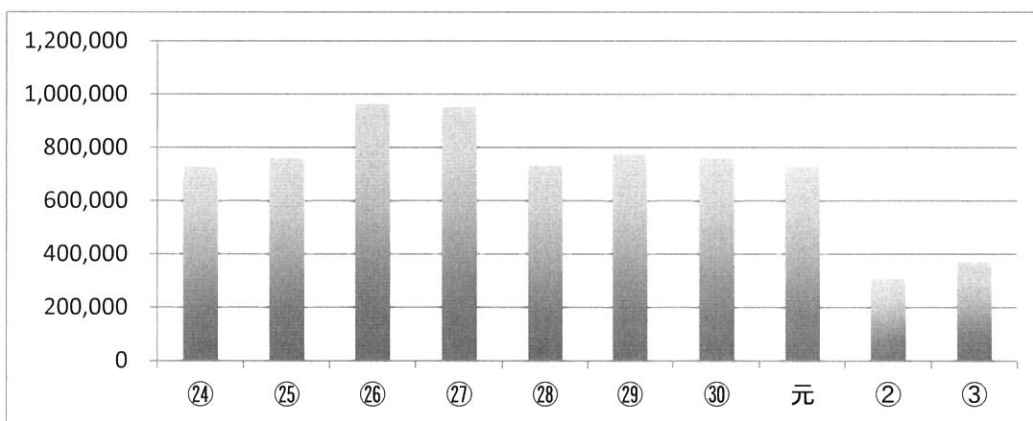
前年度に引き続きコロナウイルス感染症の影響により、臨時休館や総合展示の中止、貸展示室のキャンセル、ろうじ店舗の退店など大きな影響を受けたものの、入館者は前年比2割増となった（コロナ前の令和元年度比では5割減）。感染予防ガイドラインを策定し、感染予防対策を徹底するとともに、チケットレスの導入等利用者ニーズに応え、質の高い展示を実現した。

#### (1) 令和3年度利用者数状況

区 分	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
来館者数	120,554	185,285	64,195	370,034

(参考) 過去10年間の入館者数実績

年 度	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
⑭	347,517	210,151	169,877	727,545
⑮	357,368	253,597	149,589	760,554
⑯	493,728	307,449	163,568	964,745
⑰	456,529	315,571	181,139	953,239
⑱	283,487	291,152	157,688	732,327
⑲	286,370	331,017	158,182	775,569
⑳	270,205	343,129	147,873	761,207
元	310,813	274,299	143,215	728,327
②	129,425	113,333	64,665	307,423
③	120,554	185,285	64,195	370,034



※コロナ感染症予防対策による休館等

展覧会	4/25～5/31	全館休館
	8/20～9/30	総合展示のみ閉室
フィルムシアター	4/4～5/31	休室
	8/20～9/30	
	4/1～24	定員を半数に制限（78名）
	6/1～8/19	
10/1～31		

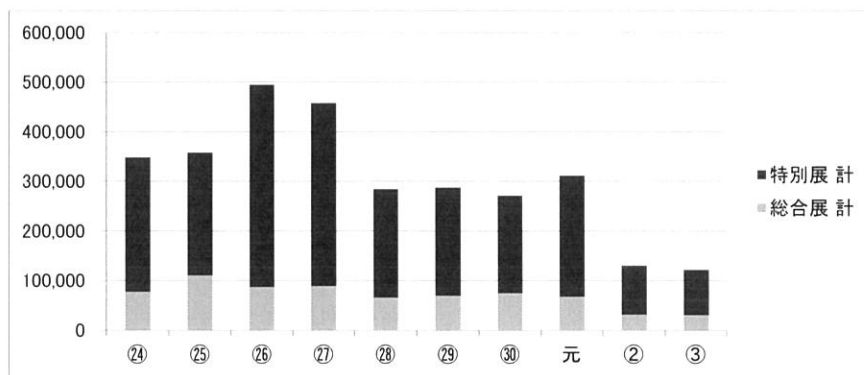
(2) 入館者数 (令和3年度)

(単位：人)

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
令3年4月	686	1,096	1,782	4,225	1,838	6,063	4,911	2,934	7,845
令3年5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令3年6月	848	1,645	2,493	1,141	680	1,821	1,989	2,325	4,314
令3年7月	1,860	1,983	3,843	1,879	1,108	2,987	3,739	3,091	6,830
令3年8月	1,035	940	1,975	1,916	1,215	3,131	2,951	2,155	5,106
令3年9月	0	0	0	4,793	2,151	6,944	4,793	2,151	6,944
令3年10月	1,180	1,776	2,956	7,146	1,488	8,634	8,326	3,264	11,590
令3年11月	1,161	2,721	3,882	8,298	1,514	9,812	9,459	4,235	13,694
令3年12月	897	1,565	2,462	8,002	1,441	9,443	8,899	3,006	11,905
令4年1月	1,257	3,262	4,519	13,204	3,215	16,419	14,461	6,477	20,938
令4年2月	1,499	2,302	3,801	7,061	1,180	8,241	8,560	3,482	12,042
令4年3月	1,324	1,408	2,732	13,737	2,877	16,614	15,061	4,285	19,346
計	11,747	18,698	30,445	71,402	18,707	90,109	83,149	37,405	120,554

(参考) 過去10年間の入館者数実績

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
㉔	23,375	53,424	76,799	149,162	121,556	270,718	172,537	174,980	347,517
㉕	43,159	66,879	110,038	163,676	83,654	247,330	206,835	150,533	357,368
㉖	29,719	57,068	86,787	291,681	115,260	406,941	321,400	172,328	493,728
㉗	25,909	62,651	88,560	253,770	114,199	367,969	279,679	176,850	456,529
㉘	29,078	35,962	65,040	122,616	95,831	218,447	151,694	131,793	283,487
㉙	33,798	35,422	69,220	114,518	102,632	217,150	148,316	138,054	286,370
㉚	33,897	40,316	74,213	90,655	105,337	195,992	124,552	145,653	270,205
元	30,283	36,497	66,780	144,109	99,924	244,033	174,392	136,421	310,813
㉑	12,051	18,513	30,564	66,057	32,804	98,861	78,108	51,317	129,425
㉓	11,747	18,698	30,445	71,402	18,707	90,109	83,149	37,405	120,554



### (3)-1 特別展の状況

(単位:人)

展覧会名	共催者等	開催期間(日数)	入館者数
よみがえる承久の乱 後鳥羽上皇VS鎌倉北条氏	京都府 京都文化博物館 読売新聞社 NHK京都放送局	4月6日(火)～5月23日(日) (17/42日間) 新型コロナウイルス感染症拡大のため4 月25日から閉室	6,063人
京都文化プロジェクト 誓願寺門前区 屏風修理完了記念 花ひらく町衆文化—近世京都のすが た	京都府 京都文化博物館	6月5日(土)～7月25日(日) (44日間)	4,808人
小早川秋聲 旅する画家の鎮魂歌	京都府 京都文化博物館 京都新聞 BSフジ ライブエグザム	8月7日(土)～9月26日(日) (44日間)	10,075人
フィンレイソン展 フィンランドの暮らしに愛され 続けたテキスタイル	京都府 京都文化博物館 MBSテレビ	10月9日(土)～令和4年1月10 日(月祝) (75日間)	33,731人
Kyoto Art for Tomorrow 2022—京都府新鋭選抜展—	京都府 京都文化博物館	1月22日(土)～2月6日(日) (14日間)	17,448人
挑む浮世絵 国芳から芳年へ	京都府 京都文化博物館 関西テレビ放送	2月26日(土)～3月31日(木) (29/38日間)※4月10日まで	17,984人 (26,155人)
合計(6回)		開催日数(223/249日間)	90,109人

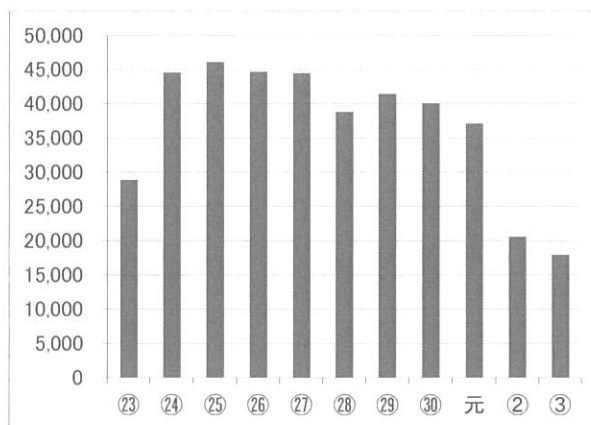
### (3)-2 企画展

展覧会名	共催者等	開催期間(日数)	入館者数
さまよえる絵筆 東京・京都 戦時下の 前衛画家たち	京都府 京都文化博物館	6月5日(金)～7月25日(日)	14,349人



(4) フィルムシアターの利用状況

	利用者数
令和 3年 4月	1,440
” 5	0
” 6	2,168
” 7	2,094
” 8	1,031
” 9	0
” 10	1,645
” 11	2,082
” 12	1,727
令和 4年 1月	2,281
” 2	1,750
” 3	1,683
計	17,901
月平均利用者数	1,492



(参考) 過去10年間の利用者実績

23	28,833
24	44,553
25	46,033
26	44,622
27	44,442
28	38,779
29	41,406
30	40,058
元	37,069
②	20,506
③	17,901

(5) 展示室（貸室）の利用状況

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数	前年度入場者数
5階展示室	一般(収益)	90日	73%	12,857人	9,204人
	作家(公益)	148日	—	29,632人	10,009人
6階展示室	一般(収益)	75日	29%	7,762人	4,943人
	作家(公益)	14日	—	1,456人	654人
合計		—	—	51,707人	24,810人

展示室	利用日数	利用率	入場者数	前年度入場者数
別館ホール	200日	75%	133,578人	88,523人

(6) ろうじ店舗等利用状況

区分	利用人数	月平均	前年度利用者数
物販・飲食店 (9店舗)	64,195人	5,349人	64,665人

## 2. 事業実施状況

### (1) 総合展示事業 (2階)

#### ①「京の歴史」ゾーン

平安・鎌倉・室町・江戸の各時代を 150 インチ×4 画面の大迫力で再現したビジュアル「絵巻回廊」のほか、最新技術による映像資料と「ほんまもん」の実物資料で京都の歴史を紹介。

#### ②「京の至宝と文化」

開催期間	展覧会名
3月20日(土・祝)～5月16日(日) / ※コロナのため～4/24まで開催	「伝える-災害の記憶展」 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料
5月22日(土)～7月18日(日) / ※コロナのため6/1～開催	「丸紅所蔵小袖名品展」
7月24日(土)～9月20日(月・祝) / ※コロナのため～8/19まで開催	「戦後京都の「色」はアメリカにあった！」
9月25日(土)～11月21日(日)	「陽明文庫の名宝 11」
9月25日(土)～11月21日(日)	「池大雅」
11月27日(土)～1月23日(日)	「近代文化人ネットワーク-太田喜二郎の周辺-」
1月29日(土)～3月27日(日)	「工芸、ここが素敵！」

#### ③「京のまつり」

4月10日(土)～5月30日(日) / ※コロナのため～4/24まで開催	「京の端午の節句と尚武」
6月5日(土)～8月1日(日)	「祇園祭展」
8月7日(土)～9月26日(日) / ※コロナのため～8/19まで開催	「京の盆踊り」
10月2日(土)～11月28日(日)	「輝く京都の四季」
12月4日(土)～2月6日(日)	「画家・井澤元一と京都 I」
2月12日(土)～4月3日(日)	「雛人形名品展」

#### ④3階「企画展」

6月5日(金)～7月25日(日)	「さまよえる絵筆-東京・京都・戦時下の前衛画家たち」
------------------	----------------------------

◆総合展示関連事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画なし。

### (2) 総合展示事業 (3階・映像)

火曜日～日曜日 午後1時30分～、午後6時30分～ (土、日、祝は午後1時30分～、午後5時～)

開催期間	タイトル・特集名
4月1日～4月24日	軽い喜劇、重い喜劇—コメディ映画の地平
6月1日～6月16日	【没後30年】今井正監督特集
6月17日～7月4日	EU フィルムデーズ 2021 映画で旅するヨーロッパ

7月6日～8月6日	【没後30年】今井正監督特集2
7月10日	さまよえる絵筆展 関連映画上映
7月16日、17日、24日	祇園祭記念特別上映
8月7日～8月19日	映画にのこる日本の精神風土
10月1日～10月17日	【東映創立70年記念】東映京都撮影所初期作品特集
10月9日～10月10日	「輝く京都の四季」展記念上映
10月19日～10月31日	映画にのこる日本の精神風土2
11月2日～11月30日	【東映創立70年記念】東映京都撮影所初期作品特集2
11月14日	京都大学人文科学研究所「近代京都と文化」上映会
11月20日	日本映画テレビ技術協会京都支部第5回名作上映会&トークイベント
11月27日～11月28日	京都建築映像祭2021
12月1日～12月3日	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館
12月4日～12月5日	文化庁障害者による文化芸術活動推進事業 CONNECT⇔ アニメ映画と一緒に楽しもう - ユニバーサル上映
12月7日～12月26日	ピュアな愛のかたち-純愛映画
12月11日	フィンレイソン展特別上映会「かもめ食堂」
R4年1月4日～1月21日	勅使河原宏監督特集
1月8日～1月16日	第43回 ぴあフィルムフェスティバル in 京都
1月22日～1月30日	第13回 京都ヒストリカ国際映画祭
2月11日～2月13日	第24回 京都国際学生映画祭
2月16日	文化庁 ndjc 若手映画作家育成プロジェクト 2021年度合評上映会
2月26日	京都府×ケベック州(カナダ)友好提携5周年記念 ケベック映画会
3月1日～3月31日	銀幕に舞い踊る-映画に見る舞踊

◆総合展示（映像）関連事業（外部共催上映等）

開催日	タイトル	講演者等
6月17日～7月4日	EU フィルムデーズ in 京都 共催：欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関	EU 代表部が加盟各国から集めた映画作品『ことの成り行き』『ナポリの隣人』等28作品の上映。 鑑賞者数：1,700人（106人／1日）
11月14日	京都大学人文科学研究所「近代京都と文化」上映会 共催：京都大学人文科学研究所「近代京都と文化」研究班	『太夫さんより 女体は哀しく』の上映。 鑑賞者数：169人（169人／1日）
11月20日	日本映画テレビ技術協会京都支部 第5回名作上映会+トークイベント 共催：日本映画テレビ技術協会	『たそがれ清兵衛』の上映と長沼六男（撮影監督）、大角正（松竹撮影所会長）によるトーク。 鑑賞者数：115人（115人／1日）
11月27日～28日	京都建築映像祭2021 共催：京都建築映像祭2021 実行委員会	『軽蔑』『Tokyo Ride』『ミース・オン・シーン』『中立性のフィールド』等の上映と渋谷哲也氏（日本大学教授）の講演。 鑑賞者数：93人（47人／1日）

12月1日～3日	京まちなか映画祭 in 京都文化博物館 主催：京まちなか映画祭実行委員会	『悪名』『たそがれ酒場』『しいのみ学園』 『893 愚連隊』等の上映と林海象監督、 バンヒロシ氏のトーク。 鑑賞者数：275人（92人／1日）
12月4日～5日	【文化庁障害者による文化芸術活動推進事業】 CONNECT⇒ アニメ映画を一緒に楽しもう - ユニバーサル上映 主催：文化庁	『どんぐりの家』『聲の形』のユニバーサル上映。 鑑賞者数：78人（39人／1日）
R4年 1月8日～16日	第43回ぴあフィルム・フェスティバル (PFF) 共催：一般社団法人 PFF（ぴあフィルムフェスティバル）	『36のシーン』『ママ・アフリカ ミリアム・マケバ』『ROUTINE』等の上映と受賞監督のトーク。 鑑賞者数：685人（86人／1日）
1月22日～30日	第13回京都ヒストリカ国際映画祭 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 （京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学） 共催：イタリア文化会館大阪、KYOTOCMEX 実行委員会	『柳』『オシユラガ 魂の地』『すべての月の夜』『鬼龍院花子の生涯』『祇園祭』『おしどり駕籠』『冷飯とおさんとちゃん』『AGANAI 地下鉄サリン事件と私』『Delicieux』『るろうに剣心』等26作品の上映と大友啓史監督、アンドリアナ・ツベトコビッチ氏らのトーク、『南国太平記』等のオンライン含め開催。 鑑賞者数：1,199人（150人／1日）＋オンライン2,610人
1月26日～29日	第13回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2020) 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 共催：第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会	世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ。公募の結果、61名（アメリカ、スイス、日本を含む19か国）の応募から時代劇製作に16名、マスターズセッションの現場参加が10名、オンライン参加が33名。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人、溝口豊監修の時代劇製作ワークショップを開催。 参加人数：16名
1月29日～31日	京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 共催：第32回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会	京都フィルムメーカーズラボ参加者、さかはらあつし監督（オンライン）、荒木啓子氏、サヴィーネ・ネイロッティ氏（オンライン）東映剣会、結城崇史氏、フランソワ・ジラル監督（オンライン）、大友啓史監督による講演。 鑑賞者数：473人（157人／1日）
2月11日～13日	第24回京都国際学生映画祭 主催：公益財団法人大学コンソーシアム京都	映画祭ノミネート等23作品の上映と入選監督トーク。 鑑賞者数：243人（81人／1日）
2月16日	文化庁 ndjc 若手映画作家育成プロジェクト 2021年度合評上映会 共催：特定非営利活動法人映像産業振興機構	『少年と戦車』『遠くへいきたいわ』『LONG-TERM COFFEE BREAK』『なっちゃんの家族』の上映と監督のトーク 鑑賞者数：43人（43人／1日）

2月19日	京都府デジタルリマスター人材育成事業上映会 共催：京都府ものづくり振興課	『折鶴お千』（デジタルリマスター版）『京都府の茶業』『続・京都府の茶業』の上映とフィルム復元ブースの展示。 鑑賞者数：50人（50人／1日）
2月26日	京都府×ケベック州友好提携5周年記念】ケベック映画会 共催：京都府国際課	『やすらぎの森』『さよなら、退屈なレオニー』の上映。 鑑賞者数：168人（168人／1日）

(3) 特別展示関連事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画なし。

#### (4) 展示室（貸室・貸ホール）の利用状況

##### ①5・6階展示室利用

種別	利用件数	入場者数
一般（収益）	61件	20,619人(前年度14,147人)
作家（公益）	38件	31,088人(前年度10,663人)
合計	99件	51,707人(前年度24,810人)

##### ②別館ホール利用

利用件数	入場者数
貸ホール（収益）96件	115,180人(前年度33,426人)
主催事業 6件	18,398人(前年度55,097人)
合計 102件	133,578人(前年度88,523人)

※別館ホール・講義室は、館主催事業等にも使用

#### (5) 学習普及活動

##### ①ぶんぱく子ども教室事業

広く小中学生を対象として開催している学習普及活動。今年は、コロナ感染防止のため、より接触機会の多いワークショップの開催は見合わせた。

##### ②博物館実習の受け入れ

同志社女子大学他、計9大学の学生10人を対象に、8月16～20日の日程で実習を実施した。

#### (6) 調査研究活動

歴史、考古、民俗、美術工芸、映像の各分野で調査研究を行い、研究紀要『朱雀』第33集を刊行するとともに、総合展示、特別展示の実施と展覧会の充実に努めた。

〔京都文化博物館研究紀要『朱雀』第33集〕

##### ○論考

- ・歴史伝承の成立過程に関する研究-信長上洛と立入宗継の事績を題材に- 橋本章
- ・横地石太郎収集の須恵器-京都府立鴨沂高等学校コレクションの基礎的研究- 村野正景

##### ○研究ノート

- ・美術館と写真のデジタルアーカイブの課題 植田憲司
- ・江村春甫《伏見九郷図屏風》について 有賀茜

○資料紹介

- ・明治初期の京都観光に関する資料について—也阿弥ホテルと英文ガイドブック—  
畑 智子
- ・翻刻 原家文書（京都府立京都学・歴彩館蔵）のうち「原家火事一件」「原一件之控書」  
有賀 茜、松井直人、吉野健一

(7) 外部連携活動

① 京都市内4館連携協力協議会の活動（京都ミュージアムズ・フォー）

今年度は、学芸部会を1回・事務部会を1回開催し、以下の連携事業を実施した。

- ・連携講座の実施（年間4回のうち1回はコロナのため中止）
- ・4館の合同年間スケジュールの作成
- ・各館友の会会員相互割引制度の実施
- ・4館相互割引、スタンプラリーを実施。

② 「京都アート・クラフトマーケット」の開催

9月に予定していた2021秋は、コロナ禍による緊急事態宣言発令のため中止となった。

2022春については、京都伝統工芸大学校との共催で、2022年3月19日（土）～21日（月・祝）の3日間開催した。43ブースが出展し、来場者数は18,053人となった。

③ 京都府内の学校との連携事業

京都府立鴨沂高等学校と連携授業を実施した。学芸員の出前講座を通じて文化財に生徒が触れて学びを深め、あわせてその成果を同校内の展覧会で紹介するにあたり学芸員が協力した。

④ 地域文化イノベーションのための博物館活動形成プログラム

当館を含む市内文化施設、学校、地域社会の連携を向上する事業として、「地域文化イノベーションのための博物館活動形成プログラム」を京都文化博物館が中格館を担う京都歴史文化施設クラスター実行委員会の事業として実施した。本事業の構成団体である京都府、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、京都市生涯学習総合センター、京都市学校歴史博物館、千總文化研究所、古文化保存協会と協働し、下記の(ア)～(ウ)の事業を行った。

(ア) 新たなまちづくり資源創出プロジェクト

- ・みちとまちワークショップ（まちカフェ：2021年7/4,7/18,9/25,11/6,12/4,2/27、のべ参加人数214名。三条で遊んでみよし：2021年11/6-7、のべ参加人数1000名以上）
- ・近代建築ウィーク2021（オンライン：2021年11/15、配信視聴回数505回。ツアー：2021年11/21,11/23,11/28、のべ参加人数51名。ワークショップ：2021年11/14、のべ参加人数30名）

(イ) 新たな連携領域創出プロジェクト

- ・学校資料を活用した幼児等対象ワークショップ・実践講座（講演会：2021年10/30、11/6、11/23、12/11、2022年1/22、2/23、計141名参加。ワークショップ：2021年11/7、12/5、2022年2/19、計26名参加）
- ・伝統産業を活かした高等学校との連携活動（教育プログラム開発：2021年9月～2022年1月

- (計 11 回) 各回学生 24 名参加。ワークショップ：2022 年 1/17、1/24、学生 24 名参加)
- ・アートと考古学の連携展示ワークショップ (展示ワークショップ：2021 年 12/14～2022 年 1/16、アーティスト・学生 30 名、参加人数：のべ 1,487 人)
  - ・京都非公開文化財を活用した市民研修 (2022 年 3/9、のべ参加人数 12 人)

(ウ) 新たな活動空間創出プロジェクト

- ・IIIF 方式による地域資源の公開アーカイブ・ワークショップ (ワークショップ：2021 年 6/18、7/8、9/24、11/18、12/9、2022 年 1/20、2/25 のべ参加人数 40 人。研修会：2022 年 2/26、参加人数 9 人)
- ・オンライン展示による地域文化資源の発信の実践 (研修会：2022 年 3/17、参加人数 11 人。)
- ・オンライン展示の作成

■<https://bonodori2021.bunpaku-online.net/>

■<https://www.youtube.com/watch?v=BJBpMzMahYQ>

(エ) 新たな多言語化サービス創出プロジェクト

- ・ワークショップ (2021 年 10/25、10/27、のべ参加人数 50 名)

⑤ 音楽会開催状況 (自主開催－別館ホール)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置により活動発表の機会が減少している芸術大学の学生のため、Summer Museum Concert を開催した。

開催日	タイトル	参加者数
8 月 17 日、19 日	Summer Museum Concert 協力 京都市立芸術大学	105 人

(8) 友の会事業

会員数は、令和 3 年度末現在、668 人 (A 会員 338 人、グループ会員 101 人、B 会員 229 人) である。(令和 2 年度末、773 人 (A 会員 361 人、グループ会員 136 人、B 会員 276 人))

会員への博物館情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を毎月 1 回発行。

(9) 博物館ボランティア事業

より開かれた博物館を目指し、博物館と来館者をつなぐ役割を自主的に担うことを目的としている。令和 3 年度は 62 名が在籍し、以下のグループに分かれて活動を実施した。

2 階総合展示室「京の歴史ゾーン」を主たる活動の場とし、来館者への案内、解説、誘導、監視 (日本語 29 名、英語 28 名、その他言語 5 名による) 等を行うグループ 62 名

活動にあたっては、研修等を充実させることにより、スタッフの資質とやりがいの向上に努めた。

○令和 3 年度の活動実績

- ・ボランティア研修 (オンライン研修 11 回、館内研修 1 回)
- ・ボランティア特別講座 3 回

### Ⅲ 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール

#### 1. 管理運營業務

「文化芸術会館」及び「府民ホール」については、指定管理者「創」として締結した京都府との協定に基づき管理運営を行った。（文芸会館指定管理期間：令和2年4月から令和5年3月までの期間 3年間、府民ホール指定管理期間：令和2年4月から令和7年3月までの期間 5年間）

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館のほか、利用予定の相次ぐキャンセル、自主事業の中止など両館の活動が大きく制限され、利用者数、利用率等の利用実績も大きく落ち込んだ。

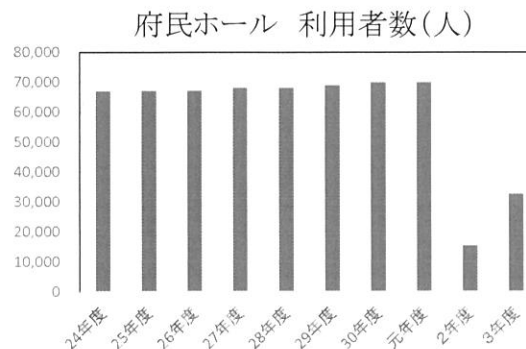
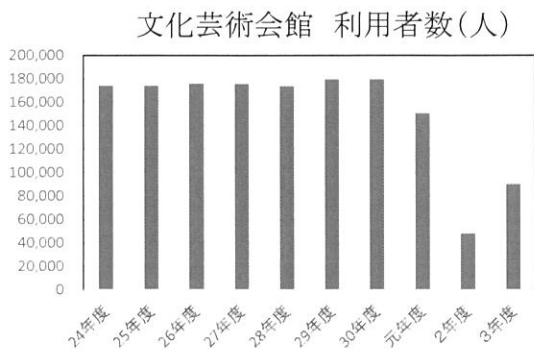
一方で、これまでの当財団の指定管理者としての経験を活かし、新規の利用の掘り起こしやコロナ後を見据えたウェブ配信事業に取り組むとともに、引き続き両館の人的資源の有効活用や、株式会社コングレの持つ民間事業者の弾力的・機動的な運営能力を活かすよう努め、財団の目的に沿った京都文化の豊かな創造、発展に寄与した。

#### 施設利用状況総括表

施設名	利用者数 (人)	利用率	公演回数
文化芸術会館	89,708 (前年度 47,768) *	ホール 73.1% (52.2%)	160 (72)
	9,692,820	展示室 57.6% (47.4%)	
府民ホール	32,543 (前年度 15,199) *	ホール 80.8% (52.5%)	157 (77)
	2,090,658		
計	122,251 (前年度 62,967) *		
	11,783,478		

( )は前年度

\* は開館からの累計





(1) 施設利用状況（全体）

1 会館使用状況

① 京都府立文化芸術会館

施設別の利用状況については、

- ・令和3年度のホール利用状況は次のとおりであり、稼働率73.1%（2年度は52.2%）であった。
  - ・展示室は、1階162日、2階148日、3階24日の利用日数であった。
  - ・年間会館入場者数は、89,708人であった。
- 利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和3年4月～令和4年3月） （単位：日・回・件・人）

区 分	ホ ー ル	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
利用日数 (和室公演) <small>(会議室に分類)</small>	223	162	148	24	334	—	—
公演回数/件数	160	28	25	6	59	518	737
入場者数	41,840	14,043	12,628	1,041	27,712	20,156	89,708

— 参 考 —

（令和2年度入場者数） （単位：人）

区 分	ホ ー ル	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
入場者数	14,722	9,422	7,390	1,064	17,876	15,170	47,768

② 京都府立府民ホール

令和3年度のホール利用状況は次のとおりであり、稼働率は80.8%

（2年度は52.5%）であった。

年間入場者数は32,543人であった。

利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和3年4月～令和4年3月）

利用日数	214
公演回数/件数	157
入場者数	32,543

— 参 考 —

（令和2年度入場人員）

入場者数	15,199
------	--------

## (2) 利用料金収入状況

施設別内訳は、次表のとおりである。

### ① 京都府立文化芸術会館

施設別	令和3年度	(参考)令和2年度
ホール使用料	10,780,900 円	5,208,300 円
展示室使用料	4,890,400 円	3,837,000 円
会議室使用料	3,085,200 円	2,280,300 円
録音室使用料	207,700 円	285,200 円
附属設備使用料	10,620,390 円	4,123,760 円
駐車場使用料	13,255,800 円	13,829,400 円
計	42,840,390 円	29,563,960 円

### ② 京都府立府民ホール

施設別	令和3年度	(参考)令和2年度
ホール使用料	15,862,800 円	8,254,650 円
附属設備使用料	6,536,360 円	3,222,900 円
計	22,399,160 円	11,477,550 円

## 2. 事業実施状況

文化芸術会館

<公益目的事業>

(1) 自主(主催)事業

① 京都府からの委託事業

<京都ゆかりの次世代アーティスト育成プログラム>

		催し物名	開催日	会場	入場者数
古典芸能	狂言五笑会 3回	第40回 小舞：「桑の弓」「小原木」「京童」 狂言：「牛馬」「文山立」「昆布売」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、 鈴木実、山下守之	令和3年 8月24日	和室	70
		第41回 独吟小舞：「栗焼」「うさぎ」 狂言：「蟹山伏」「左近三郎」「水掛髻」 出演：島田洋海、増田浩紀、井口竜也、 鈴木実、山下守之	12月11日		70
		特別公演 狂言：「花折」「素袍落」「二人大名」 出演：五笑会メンバーほか茂山七五三、茂山 千五郎、網谷正美、松本 薫、茂山あきら、 丸石やすしなど茂山千五郎家総出演	令和4年 3月6日	ホール	190
	上方落語勉強会 4回	第262回 「転失気」桂 源太／「八五郎坊主」桂 華紋／ くまざわあかね新作 Vol.45 お題の名づけ親は あなたです その124 笑福亭 枝鶴／「次の御用 日」桂 米二／「猿後家」桂 阿か枝	6月11日	和室	50
		第263回 「つる」桂 天吾／「うなぎ屋」桂 米二／ 小佐田定雄新作 Vol.102 お題の名づけ親はあ なたです その125 桂 米紫／「松山鏡」露の 紫／「ねずみ」笑福亭 喬介	9月24日		70
		第264回 「やかん」桂 二豆／「ガマの油」桂 團治郎／ くまざわあかね新作 Vol.46 お題の名づけ親は あなたです その126 桂 三扇／「正月丁稚」桂 米二／「吉野狐」笑福亭 生寿	12月14日		70
		第265回 「動物園」桂 おとめ／「馬の田楽」桂 米二 小佐田定雄新作 Vol.103 お題の名づけ親はあ なたです その127 桂 南天／「祝いのし」桂 文三／「擬宝珠」桂 米輝	令和4年 3月8日		70

<「古典の日」推進プログラム>

		催し物名	開催日	会場	入場者数
古典 芸能		「新春 米朝一門花形落語会」(古典芸能ワークショップ) 桂 米輝、桂 小鯛、桂 しん吉、桂 南天、桂 吉弥、 桂 米紫	令和4年 1月5日	ホール	200

<府民との協働・参画プログラム>

催し物名		開催日	会場	入場者数
演劇	第43回Kyoto演劇フェスティバル 和室プログラム ・空の会 ・有座（たもつぎ） ・語り劇団京桜座一家 ・京都放送劇団（中止）	令和4年 2月9日・ 2月11日 ～13日	和室 ホール	419
	ホールプログラム ・ひとり人形劇まる人形劇&Kokoro All Stars（中止） ・児童劇団やまびこ座（中止） ・みかんの木文庫&福知山淑徳高等学校人形劇講座（変更） ・草の根劇場 劇団「かいつぶり」 ・宇治っ子朗読劇団☆Genji ・ちゃんばら CLUB 喜怒哀楽			

② 自主事業

<優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供>

催し物名		開催日	会場	入場者数
演劇	イッセー尾形の一人芝居「妄ソウ劇場」その5 2021 in京都 「ロリータ「国会中継」「中華屋のおばちゃん」「高速道路男」 「女プロデューサー」「立体紙芝居IV」「ひとみちゃん コロナ編II」	11月5日～ 7日	ホール	1,020 各日 340
	桂 宗助 改め 二代目 桂八十八 襲名披露公演 落語 桂 八十八／桂 ざこば／桂 米 二／桂 米 平／桂 慶治朗 口上 [桂 八十八、桂 ざこば、桂 米輔、桂 千朝、桂 米二、桂 米團治 桂 勢朝 桂 米平、桂 米裕 桂 米左、桂 団朝、桂 すずめ] 南京玉すだれ 桂 勢朝	11月13日	ホール	220
	北部演劇活性化プログラム みかんの木文庫（福知山）・狂言（京都）・あしたの森のチコ （京都）ほか ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ※京都府中丹文化事業団・きょうと北部演劇まつり実行委員会との共催	8月22日	綾部市	中止
古典 芸能	文楽京都公演 「一谷嫩軍記」「曾根崎心中」	令和4年 3月18日、 19日	ホール	944 (4回)
	京都三曲協会 邦楽（箏・三絃・尺八）を楽しむ会 第75回 作曲者の異なる同名曲の聴き比べ「七福神」「葵上」 ※年4回開催予定の内、他3回は新型コロナウイルス感染拡大防止の ため中止	12月13日	和室	60

文化芸術会館 受託・自主事業合計数

	公演数	入場者数
受託・自主事業 合計	18	3,453
前年同期計	18	2,735
増減差	0	718

## (2) 会館の運営事業

会館の備えるホール、和室、展示室及び会議室の各施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等の実施と交流のために使用する利用者に貸与した。

## (3) 友の会事業

友の会会員に対し、昨年と同様に、自主事業の定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供したが、新型コロナウイルス感染症のまん延により事業の中止や、貸館公演のチケット販売を休止を余儀なくされ、会員数は昨年より少し減少した。

会員数	令和3年度末	285人
	令和2年度末	305人

## <収益事業>

### (1) 公益目的外貸与事業

①ホール、和室及び展示室の使用のうち、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供等の公益目的以外の興行性の高い利用者の使用に貸与した。

②会議室使用のうち、民間事業者等の学術的利用のための使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

	貸与日数	公演等数	入場者数
ホール	20	25	6,085
会議室	51	51	1,740

### (2) 駐車場事業

来館者等の利便のため附属駐車場を運営した。

## 2. 事業実施状況

府民ホール

### <公益目的事業>

#### (1) 自主(主催)事業

公益目的事業として、新しい舞台芸術の発信・創造、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する音楽、演劇、舞踊等の公演を、高い芸術性と趣向を凝らしたおもてなしを提供する「ALTI 未来時間」を企画・実施したが、新型コロナウイルスの感染拡大による2度の緊急事態宣言と2度のまん延防止等重点措置が出されたことに伴い、感染防止、お客様と出演者等関係者の安全対策を徹底して行った結果、予定していた10公演のうち9公演を実施することができた。

#### ①京都府受託事業

##### <アーティスト育成プログラム>

(次世代の育成)

	催し物名	開催日	会場	入場者数
音楽	若手気鋭演奏家による夢の響演 黒川侑・佐藤晴真・阪田知樹ピアノトリオ with金子平	令和3年 11月27日	ホール	227

##### <新しい舞台芸術の創造・発信プログラム>

	催し物名	開催日	会場	入場者数
音楽	アスタリスク・オクテット 弦楽四重奏と奏でる珠玉の声楽作品	令和3年 12月15日	ホール	238
	京都アルティ弦楽四重奏団 曲目：モーツァルト 弦楽四重奏曲第14番 (ハイドンセット第1番) ト長調K.387「春」 ほか	令和3年 10月16日	ホール	213
	ヤン・ラングレン×ハクエイ・キム 2台のピアノによるジャズコンサート	令和3年 10月8日	ホール	中止
	チェロアンサンブルの愉しみ トップチェリストによる珠玉のアンサンブル	令和4年 2月11日	ホール	367

##### <京都から国際的な舞台芸術の発信プログラム>

	催し物名	開催日	会場	入場者数
ダンスパフォーマンス	A. A. P本公演 舞踊×映像×音楽 「夢の轍」	令和4年 3月5日 3月6日	ホール	323 (2日公演)

## ②自主事業

### <新しい舞台芸術の創造・発信プログラム>

	催し物名	開催日	会場	入場者数
演劇	加藤健一事務所公演第1弾 「ドレッサー」	令和3年 4月24日	ホール	155
	加藤健一事務所公演第2弾 「THE SHOW MUST GO ON ～ショーマストゴーオン～」	令和3年 9月18日	ホール	369 (2回公演)
	加藤健一事務所公演第3弾 「叔母との旅」	令和3年 12月4日	ホール	401 (2回公演)

### <京都から国際的な舞台芸術の発信プログラム>

	催し物名	開催日	会場	入場者数
音楽	アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2021 ～集い、歌い、聴き、学ぶ～	令和3年 7月17日 7月18日	ホール	593 (2日公演)

	入場者数
受託・自主事業 合計	2, 886
前 年	1, 056
増 減	1, 830

### (2) ホールの運営事業

ホールの施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等のために使用する利用者に貸与した。

### (3) 友の会事業

友の会（アルティ・メイト）会員に対し、定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供しホール利用を促進するとともに、特典の充実と窓口での入会案内の強化により会員の拡大に努めた。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
会員数	566	549	519	401	419

## <収益事業>

### (1) 京都府公館の管理事業

府民ホールとの合築になっている京都府公館を、府との委託契約に基づき管理した。

### (2) 公益目的外貸与事業

ホールの使用のうち未利用日等について、優れた文化芸術活動の場の提供等の公益目的事業以外の興行性の高い利用者や京都府主催行事の使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

貸与日数	公演数	入場者数
20	15	3,675



### 3. 美術工芸振興基金事業

#### (1) 京都府出えん金

昭和63年度	79,000,000 円
--------	--------------

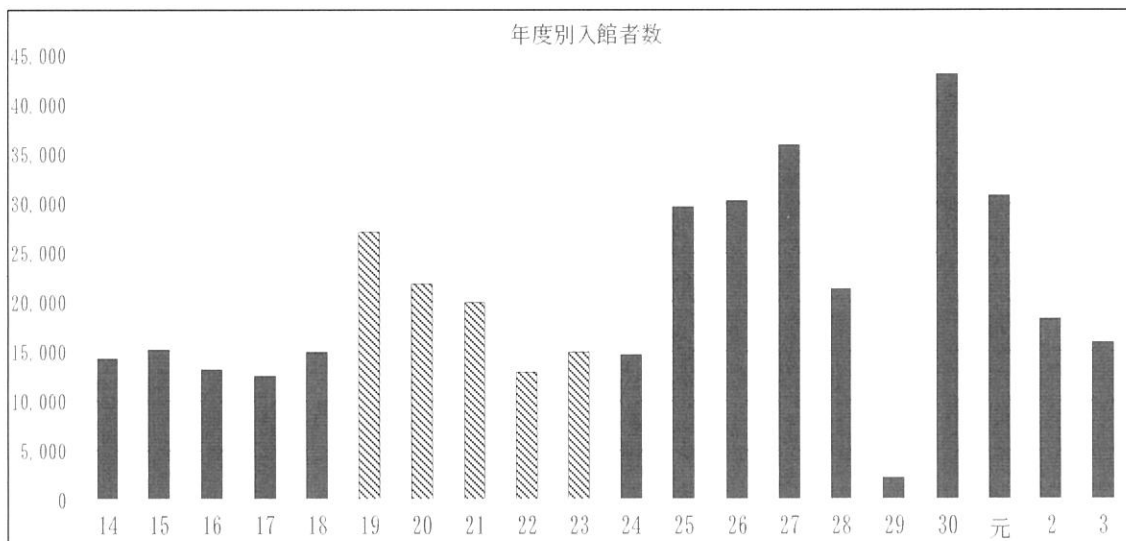
#### (2) 基金運用事業

基金の果実を財源として、美術・工芸界でユニークな創造活動を行う作家を対象とした『企画展』を開催してきたが、利息の減収等により事業資金が不十分な現状となっている。そういった中で、令和3年度においては、令和4年度以降に向け果実を積み上げた。

## IV. 京都府立堂本印象美術館

### 1. 展覧会事業

展覧会名	期間	概要	入場者数
椿、咲き誇る — 椿を描いた名品たち —	4月3日～4月24日 (19日間) ※4/25～5/31は 京都府指示 による臨時休館	「椿」をテーマとして、尾形光琳、尾形乾山の工芸品をはじめ、横山大観、村上華岳、徳岡神泉などの日本画、岸田劉生、鳥海青児、熊谷守一などの洋画を紹介する。	3,829人 (2,854人)
第4回野外彫刻展		京都彫刻家協会による野外展。	
生誕130年 堂本印象	6月4日～11月23日 (149日間)	堂本印象生誕130年の記念展の前編。来館者投票により選ばれたコレクションの上位10作品を中心に初出品作もあわせ、印象が生み出した魅力あふれる絵画を紹介する。	9,939人 (8,317人)
第2回野外工芸美術作家展	10月9日～11月23日 (40日間)	野外工芸美術作家協会による野外展。	
生誕130年 描く・飾る・デザインする — 堂本印象の流儀 —	12月3日～3月21日 (87日間)	堂本印象生誕130年の記念展の後編。「日本画家」の枠にとらわれない印象のマルチな創作活動に注目し、工芸品や美術館デザインなど、平面から立体、空間装飾にいたるまで、独特な美のセンスで彩る印象の一面に迫る。	5,179人 (4,686人)
第3回野外いけばな展 — 私の印象 —	2月11日～2月13日 (3日間)	京都いけばな協会作家による野外展。	
令和3年度開館日数 255日		合計 ※ ( ) は入館者数	18,947人 (15,857人)



年度	14	15	16	17	18	19	20	21
入館者数	14,207	15,118	13,085	12,433	14,876	27,064	21,804	19,926
年度	22	23	24	25	26	27	28	29
入館者数	12,842	14,861	14,606	29,563	30,249	35,927	21,341	2,228
年度	30	元	2	3	累計			
入館者数	43,082	30,697	18,216	15,857	636,243			

※ 平成18～23年度の指定管理者は学校法人立命館

## 2. 展覧会関連事業

### (1) 野外イベント

タイトル	出展者	期間	備考
第4回野外彫刻展	京都彫刻家協会会員	4月3日～4月24日 ※4/25～5/31は 臨時休館	無料
第2回野外工芸美術作家展	京都工芸美術作家 協会会員	10月9日～11月23日	無料
第3回野外いけばな展 —私の印象—	京都いけばな協会会員	2月11日～2月13日	無料

### (2) ギャラリーツアー等

日時	タイトル・内容	講師等
10月14日 10月15日	衣笠中学校との連携授業 (事前学習・団体鑑賞)	下河邊英寿副館長他 (堂本印象美術館)
12月25日	ギャラリートーク	山田由希代主任学芸員 (堂本印象美術館)

ワークショップ・コンサートは新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせました。

## 3. 学習普及活動

### (1) ボランティア活動

平成25年4月に結成した堂本印象美術館ボランティアのメンバーをリニューアルオープンに合わせて新たに募集し、来館者への説明や各自主事業などへのスタッフとしての参加等、美術館運営に得難い力となっている。36名在籍。

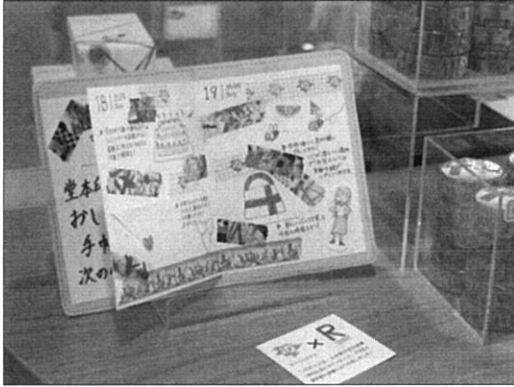
### (2) 友の会活動

平成25年3月に募集を開始し、会員数は38（個人37、団体1）。会員からは会費にて美術館の活動を支援頂きながら、展覧会の無料入館などのサービスを提供した。

#### 4. 立命館大学との取り組み

立命館大学衣笠キャンパスで実施されている講義、「現代社会とボランティア」「ソーシャル・コラボレーション演習」に参画し、学生ボランティアの活動に協力しているほか、美術館の利活用や価値を高める取り組みを学生と共同で企画、実施した。

ミュージアムショップのポップ作成



広報用 SNS 記事の作成



落語研究会による紹介動画の制作



展覧会チラシのデザイン



美術館備品のメンテナンス



## 5. 外部連携事業

(1) 今出川通に近接する日本画と茶の湯の美術館の連絡協議会。

主な活動として『京都・今出川通の美術館だより』（季刊誌）を年4回共同発行した。

構成館 堂本印象美術館、橋本関雪記念館、北村美術館、樂美術館、茶道資料館

## 6. 調査・研究事業等

堂本印象の作品及び関連資料の調査、研究から、展示や展覧会、図録等において、その成果を広く公開した。

「生誕130年 堂本印象」展パンフレット

